



2025・2026年度 博士課程前期2年の課程 学生募集要項

【一般選抜】

(2026年4月入学者用)

【外国人留学生等特別選考】

(2025年10月及び2026年4月入学者用)

【一般選抜】

出願期間	2025年7月7日(月)午前10時～7月11日(金)午後5時 ※2
試験日程	2025年8月21日(木)～8月22日(金): 数学専攻 2025年8月19日(火), 8月21日(木)～8月22日(金): 物理学専攻 2025年8月25日(月)～8月26日(火): 天文学専攻 2025年8月21日(木)～8月22日(金): 地球物理学専攻 2025年8月19日(火)～8月20日(水): 化学専攻 2025年8月7日(木)～8月8日(金): 地学専攻
合格者発表	2025年9月5日(金)午前9時(予定)
入学手続	2026年3月中旬
入学年月日	2026年4月1日

※1 (該当者のみ) 事前審査申請書類受付締切: 2025年6月18日(水)

※2 本入試の出願は、インターネット出願により行います。インターネット出願の方法等については、後日、東北大学理学部・理学研究科ウェブサイトに掲載します。

<https://www.sci.tohoku.ac.jp/juken/graduate-admission.html>

※3 【外国人留学生等特別選考】の詳細については、問い合わせ先(11頁参照)まで別途問い合わせ願います。

2025年5月
東北大学大学院理学研究科

《アドミッション・ポリシー》

理学は、自然界にひそむ原理や法則性を解明し、真理を探究する学問であり、人類の根源的な自然への疑問に対する飽くなき知的好奇心を原動力として形成されてきました。また、理学は現代社会を支える科学技術や人文・社会科学など様々な分野の基盤となっており、人間の生活に密接に関わっています。

東北大学大学院理学研究科は、先端的な研究成果に基づいた高度な専門的教育によって、人間性と倫理性を備えた、理学の各分野で世界をリードする研究者や理学的素養を活かして多方面で活躍する職業人を育成することを目指します。

本研究科が入学者に求める人間像は、次のとおりです。

- ・ 理学の研究に必要な基礎学力を有し、本学における勉学に強い意欲を持っている人
- ・ 人類の知的財産を継承し、自由な発想と独創性をもって自然の真理の探求に取り組み、次世代の自然科学と科学技術の進展に寄与したいという志を持っている人
- ・ 人間性と倫理性を備え、科学的思考能力を基礎に人類の文化と社会の発展に貢献する研究者・高度職業人となる意志を持っている人

学生の受け入れにあたっては、6つの専攻ごとに一般選抜、外国人留学生等特別選考、自己推薦入学試験（博士課程前期2年の課程）及び社会人特別選考（博士課程後期3年の課程）を実施し、本研究科の教育理念・目標に沿った研究を行うために必要な高い能力と資質を備えているか否かを重視して選抜を行います。

（博士課程前期2年の課程）

一般選抜では、専門分野の研究に必要な基礎学力を評価する筆記試験と、研究計画、研究能力と研究意欲等に基づく面接試験を行い、特に基礎学力と研究意欲を重視して選抜を行います。

外国人留学生等特別選考では、専門分野の研究に必要な基礎学力と論理的思考力、英語技能、研究計画と研究意欲等を評価する面接試験等を行い、特に基礎学力と研究意欲を重視して選抜を行います。

なお、入学前に、専門分野の高度な知識を修得し研究を行うために必要な基礎学力を身につけておくことを希望します。

目 次

学 生 募 集 要 項

1	募集専攻及び募集人員	1 頁
2	出願資格	1 頁
3	事前審査	3 頁
4	外国人留学生等特別選考出願上の留意事項	4 頁
5	配慮を必要とする入学志願者等の事前相談	5 頁
6	出願手続	5 頁
7	選考方法，内容等	7 頁
8	選考日程等	9 頁
9	合格発表	9 頁
10	入学手続	10 頁
11	その他	10 頁

東北大学大学院理学研究科の概要

1	東北大学大学院理学研究科案内	12 頁
2	授業科目，担当教員及び研究内容	
	(1) 数学専攻	13 頁
	(2) 物理学専攻	14 頁
	(3) 天文学専攻	17 頁
	(4) 地球物理学専攻	17 頁
	(5) 化学専攻	19 頁
	(6) 地学専攻	23 頁

1 募集専攻及び募集人員

(1) 2026年4月入学者の募集人員は次のとおりです。

専攻名	募集人員	講座・分野等名
数 学	38名	代数学 幾何学 解析学 多様体論 応用数理 相関数理解析
物 理 学	81	量子基礎物理学 素粒子・核物理学 電子物理学 量子物性物理学 固体統計物理学 相関物理学 領域横断物理学 原子核理学 高エネルギー物理学 結晶物理学 金属物理学 分光物理学 核放射線物理学 加速器科学 強相関電子物理学 量子機能計測
天 文 学	9	天文学 理論天体物理学 スペース宇宙科学
地球物理学	26	地震・火山学 沈み込み帯物理学 気象学・大気力学 海洋物理学 物質循環学 気候物理学 衛星海洋学 宇宙地球電磁気学 惑星大気物理学 惑星圏物理学
化 学	66	無機・分析化学 有機化学 物理化学 境界領域化学 先端理化学 化学反応解析 固体化学 生体機能化学
地 学	32	地圏進化学 環境地理学 環境動態論 地圏物質循環学 地球惑星物質科学 比較固体惑星学 地球内部反応 自然史科学 地殻化学 自然災害学
計	252	

注 欠員が生じた場合には、2025年11月に第2次募集要項の発表を行うことがあります。

(2) 2025年10月入学の外国人留学生等特別選考の募集人員は若干人です。

2 出願資格

博士課程前期2年の課程には、次の(1)～(11)のいずれかに該当する方が出願できます。

ただし、外国人留学生等特別選考に出願できる方は、外国人留学生及び外国の大学において学校教育を受けた者（帰国学生）とします。

注1 「外国人留学生」とは、日本国籍を有しない者で、日本国の永住許可を得ていないものとします。

注2 「帰国学生」とは、日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を受けている者で、外国の大学において学校教育を受けたものとします。

注3 外国人留学生等特別選考に出願を希望する方は、出願する前に準備を行う必要があります。
詳細は4頁の「4 外国人留学生等特別選考出願上の留意事項」を参照してください。

2026年4月入学者

- (1) 大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣

が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本大学院において所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの及び2026年3月末日までに在学又は修了見込みの者で、本大学院において所定の単位を優秀な成績で修得する者と認めたもの
- (10) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に飛び入学した者であって、本大学院において、その教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (11) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月末日までに22歳に達するもの

注1 高等専門学校の専攻科を卒業又は卒業見込みの方は、出願資格の(2)により出願することができます。ただし、大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与されていない場合又は申請していない場合は、出願資格(11)により個別に入学資格の審査を行います(注3参照)。

注2 出願資格の(6)により一般選抜に出願を希望する方は、2025年6月11日(水)までに理学部・理学研究科教務課大学院教務係(以下「大学院教務係」・11頁参照)までご連絡ください。ただし、外国人留学生等特別選考に出願を希望する方は、4頁の「4 外国人留学生等特別選考出願上の留意事項」を参照してください。

注3 出願資格の(9)、(10)又は(11)により出願する方は、それぞれに指示する事前審査(3頁の「3 事前審査」参照)を受け、その結果により出願してください。

2025年10月入学者

10月入学の入学者選抜試験は、外国人留学生等特別選考のみ実施します。

- (1) 大学を卒業した者及び2025年9月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2025年9月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年9月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年9月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2025年9月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2025年9月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

及び2025年9月までに修了見込みの者

- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本大学院において所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの及び2025年9月末日までに在学又は修了見込みの者で、本大学院において所定の単位を優秀な成績で修得する者と認めたもの
- (10) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に飛び入学した者であって、本大学院において、その教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (11) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年9月末日までに22歳に達するもの

注1 出願資格の(6)により出願する方は、2025年6月11日（水）までに大学院教務係（11頁参照）までご連絡ください。

注2 出願資格の(9)、(10)又は(11)により出願する方は、それぞれに指示する事前審査（3頁の「3 事前審査」参照）を受け、その結果により出願してください。

3 事前審査

出願資格の(9)、(10)又は(11)により出願を希望する場合は、事前に審査が必要です。次の(1)から(3)により手続きをしてください。

なお、外国人留学生等特別選考に出願を希望する方の締切は、それぞれ別途お知らせします。

(1) 申請受付

- ① 事前審査申請書類受付締切は、2025年6月18日（水）です。
- ② 事前審査を申請する方は、事前に、Googleフォームに必要事項を入力してください。

（事前審査申請フォーム）



- ③ フォーム入力後、事前審査申請書を理学研究科ホームページからダウンロードし、作成・印刷の上、指定する書類を郵送により提出願います。

必ず速達簡易書留郵便とし、封筒の表に「博士課程前期事前審査申請書類在中」と朱書してください。2025年6月18日（水）までに到着したものに限り受け付けます。

ダウンロード用ページ <https://www.sci.tohoku.ac.jp/juken/application.html>

- ④ 申請書類に不備のあるものは受理しません。

(2) 審査結果は、2025年6月26日（木）までに、上記フォームで入力したメールアドレスあて通知します。

(3) 事前審査の結果、資格の認定を受けた方は、出願期間内に出願手続きをしてください。また、審査結果は印刷の上、試験日に持参し、試験監督者や係員の指示により提示を求められた場合は、提示してください。

◆申請書類

◎出願資格(9)－大学3年次在籍者－

この資格により出願できる方は、大学院修学に必要な専門科目の履修又は相当する科目をすべて履修した方（2025年9月末又は2026年3月末までに履修見込みを含む。）で、かつ、本研究科

が行う次の事前審査を受け、その審査に合格した方とします。

申請書類	摘 要
事前審査申請書	所定用紙 ホームページからダウンロードしてください。 履歴、希望する研究分野等を記入してください。
成績証明書	在籍大学における申請時までの成績証明書で在籍大学の長が作成したものを提出してください。（厳封）
在学証明書	在籍大学の長が作成したものを提出してください。
大学3年次における履修科目のわかるもの	様式任意 履修科目表の写し等（予定を含む）、所属学科等の授業科目表の写し及び卒業要件のわかるものを提出してください。

◎出願資格（10）－他の大学の大学院に「飛び入学」した者－

この資格により出願できる方は、他の大学の大学院に「飛び入学」した方のうち、在学中に新たに本研究科を受験する方で、本研究科が行う次の事前審査を受け、その審査に合格した方とします。

申請書類	摘 要
事前審査申請書	所定用紙 ホームページからダウンロードしてください。 履歴、希望する研究分野等を記入してください。
成績証明書	大学院入学前に在籍した大学の長が作成したものを提出してください。（厳封）
在学証明書	在籍大学院の長が作成したものを提出してください。

◎出願資格（11）－大学を卒業していない者等－

この資格により出願できる方は、短期大学、高等専門学校（専攻科を卒業又は卒業見込みの方で、出願資格（2）に該当する方を除く。）、専修学校、各種学校の卒業者及びその他の教育施設の修了者等のうち、本研究科において入学希望者個人の能力の個別審査（事前審査）により、大学を卒業したものと同等以上の学力を有すると認められる方で、その審査に合格した方とします。

申請書類	摘 要
個別事前審査申請書	所定用紙 ホームページからダウンロードしてください。 学習歴、実務経験等及び希望する研究分野等を記入してください。
成績証明書	最終出身学校の長が作成したものを提出してください。（厳封）
その他審査に参考となるもの	学術論文又はそれに相当するものを提出してください。

4 外国人留学生等特別選考出願上の留意事項

本邦に在留の有無にかかわらず、外国人留学生及び外国の大学において学校教育を受けた者（帰国学生）からの入学の志願があるときは、特別選考を行うことがあります。（出願資格は、1～3頁参照）

特別選考に出願しようとする方は、あらかじめ志願者が受入先として希望する教員（以下、「受入志望教員」という。）の内諾を得たうえで、受入志望教員を通して志望専攻の専攻長に連絡し、出願の了解を得た後、出願の手続きをしてください。

- （1）2025年10月の入学志願者が、特別選考に出願しようとする場合は、2025年6月27日（金）までに、受入志望教員を通して志望専攻の専攻長に連絡し、詳細を確認してください。
- （2）2026年4月の入学志願者が、特別選考に出願しようとする場合は、原則として2025年9月末日までに、受入志望教員を通して志望専攻の専攻長に連絡し、詳細を確認してください。出願期間等については、別途通知します。

5 配慮を必要とする入学志願者等の事前相談

入学志願者で、既往症、疾病など受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、2025年6月26日（木）までに大学院教務係（11頁参照）に相談してください。なお、相談の内容によっては、試験日までに対応できず、措置が講じられないこともありますので、可能な限り速やかに相談してください。

本研究科の入学試験においては、既往症、疾病などの理由により、合否判定の際に不利に取り扱われることはありません。

6 出願手続

（1）出願期間等

- ① 出願手続は、インターネット出願システムへの入力により行います。
<https://www.sci.tohoku.ac.jp/juken/graduate-admission.html>
- ② インターネット出願システムへの入力期間は、一般選抜は、2025年7月7日（月）午前10時から7月11日（金）午後5時までとします。外国人留学生等特別選考の志願者のインターネット出願システムへの入力期間については、別途お知らせします。
入力期間中に、出願完了のボタンを押し、出願を完了させてください。出願完了のボタンを押さないと、出願が完了したことになりません。
また、出願完了のボタンを押す前に上記入力期間が過ぎた場合でも、出願は受け付けられませんので、注意してください。
- ③ 出願書類等に不備のあるものは受理しません。
- ④ 物理学専攻志望者は、インターネット出願システムに入力の際、希望する研究グループまたは面接グループを、画面の指示に従って選択してください。
- ⑤ 地球物理学専攻志望者は、インターネット出願システムに入力の際、第1志望と第2志望の領域と分野を
A 領域・分野「地震・火山学、沈み込み帯物理学」
B 領域・分野「気象学・大気力学、海洋物理学、物質循環学、気候物理学、衛星海洋学」
C 領域・分野「宇宙地球電磁気学、惑星大気物理学、惑星圏物理学」
からそれぞれ選択してください。
志望領域・分野の教員に事前に相談することを推奨します。
- ⑥ 地学専攻志願者は、インターネット出願システムに入力の際、
(A)分野「地圏進化学（地圏物質循環学）・自然史科学・環境動態論・自然災害学」
(B)分野「環境地理学・環境動態論・自然災害学」
(C)分野「地球惑星物質科学（地球内部反応）・地殻化学・自然史科学・比較固体惑星学」
のいずれかの分野を選択してください。
- ⑦ 出願書類等に虚偽の申告をした者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- ⑧ 出願後は、出願の取下げ及び出願書類等の記載事項の変更を認めません。また、出願書類等及び入学検定料は、返還しません。
- ⑨ 願書受付締切後、出願を受理した場合は、インターネット出願システムにより受験票を表示します。受験票の表示開始は登録したメールアドレス宛てにお知らせします。なお、受験にあたり必要な情報は登録したメールアドレス宛てにお送りしますので、出願時に確実に届くメールアドレスを正確に入力するとともに、出願後はメールをよく確認してください。
- ⑩ 受験票は、インターネット出願システムからダウンロードし、必ず印刷して、受験当日に持参してください。

（2）出願書類等

出願書類等は以下のとおりです。所定用紙は、本研究科ウェブサイトからダウンロードしてください。<https://www.sci.tohoku.ac.jp/juken/graduate-admission.html>

また、アップロードする書類は、明瞭なものとしてください。

No.	書 類 等 名	摘 要
1	入学願書	インターネット出願システムに必要事項を入力してください。
2	顔写真データ	インターネット出願システム上でアップロードしてください。 ・3か月以内に撮影した志願者本人が判別できるもので、正面上半身無帽のもの（サイズの比率は縦4：横3）で無背景（背景や柄がないもの）とします。 ・使用できるデータは、png, jpg, jpeg形式のもので、データの上限は20MBとします。 ・試験当日、メガネをかけて受験する者は、メガネをかけた写真とします。
3	入学検定料	下記①の方法により入金したのち、振込の控え（インターネットバンキング利用した場合は振込明細を印刷したものやスクリーンショット等）をPDFファイルにして、インターネット出願システムにアップロードしてください。 アップロードするファイルは、「振込元の金融機関・支店」「振込元の口座番号」「振込依頼人」がわかるものとしてください。インターネットバンキングの機能制限により、上記情報が明確でない場合は、アップロードするファイルの余白に上記情報を記入してください。 ① 入学検定料は、ATM（金融機関、コンビニエンスストア）やインターネットバンキング等をご利用の上、下記により納入してください。 金 額： 30,000円 納入期間： 7月1日（火）～7月11日（金）【期限厳守】 銀 行： 三菱UFJ銀行 銀行コード：0005 支 店： わかたけ支店 支店コード：809 預金種別： 普通 口座番号： 2259081 口座名義： 国立大学法人東北大学 カ ナ： コクリツダイガクホウジン トウホクダイガク ※ 振込依頼人名は、受験者本人のカナ氏名を登録してください。 ※ 振込手数料については、受験者本人負担となります。 ② 国費外国人留学生及び2025年度に日本国内で発生した風水害等の災害により被災した出願者に対しての特別措置である入学検定料の免除申請をする方は納入不要です。 なお、風水害等の災害の被災者に対する入学検定料の免除については、次のウェブサイトをご参照ください。 https://www.sci.tohoku.ac.jp/juken/graduate-admission.html ③ <u>上記の口座は海外送金に対応していません</u>。海外から検定料を支払う場合はクレジットカード等に対応できますので、事前に大学院教務係（11頁参照）までご連絡ください。
4	成績証明書	PDFファイルにして、インターネット出願システムにアップロードしてください。 出身（在学）大学が作成したもの。 ※入学手続の際は、原本の提出が必要です。
5	卒業(見込)証明書	PDFファイルにして、インターネット出願システムにアップロードしてください。 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された方は、同機構が発行する「学士の学位授与証明書」を提出してください。また、同機構に学士の学位授与申請をする予定の方は、短期大学長又は高等専門学校長が発行する「学位授与申請(予定)証明書」を提出してください。

		※入学手続きの際は、原本の提出が必要です。
6	受験許可書 (在職中の方のみ)	PDFファイルにして、インターネット出願システムにアップロードしてください。 在職中の方は、所属長作成の許可書を提出してください。(様式任意) ※出願時に、官公庁・企業等に在職している方のみ対象です。
7	旅券の写し又は 在留カードの写し	PDFファイルにして、インターネット出願システムにアップロードしてください。 外国人で入学を志願する方は提出してください。
8	研究歴証明書 (外国人留学生等特別選考のみ)	PDFファイルにして、インターネット出願システムにアップロードしてください。 大学教育終了までの学校教育の課程が、16年に満たない国の出身者のみ提出してください。(様式任意)
9	その他参考となるもの (外国人留学生等特別選考のみ)	PDFファイルにして、インターネット出願システムにアップロードしてください。 卒業研究又はそれに相当するものを提出してください。

前記書類のほかに、専攻毎に次の書類を提出してください。

各専攻の調査票は、PDF ファイルにして、インターネット出願システムにアップロードしてください。

◎ 一般選抜志願者

No.	専攻名	提出書類
1	数学専攻	・数学専攻調査票(数学専攻別紙2-1, 2-2) (記入方法は、数学専攻別紙1参照)
2	物理学専攻	・物理学専攻調査票(物理学専攻別紙2) (記入方法は、物理学専攻別紙1-1, 1-2参照)
3	地球物理学専攻	・地球物理学専攻調査票(地球物理学専攻別紙4-1, 4-2, 4-3) (記入方法は、地球物理学専攻別紙1参照) ・語学力認定証 (詳細は、地球物理学専攻別紙2参照)
4	化学専攻	・語学力認定証 (詳細は、化学専攻別紙参照)
5	地学専攻	・地学専攻調査票(地学専攻別紙2) (記入方法は、地学専攻別紙1参照) ・スコアシート (詳細は、地学専攻別紙3参照)

◎ 外国人留学生等特別選考志願者

No.	専攻名	提出書類
6	地球物理学専攻	・学力認定証 (詳細は、地球物理学専攻別紙5参照) ・入学後の研究計画を、A4判2枚程度にまとめてください。 (様式任意) 日本語でも英語でも構いません。

7 選考方法、内容等

(1) 一般選抜

入学者の選考は、書類選考、筆記試験及び面接試験の結果を総合して行います。

なお、試験時間中は、監督者及び係員の指示に従ってください。

専攻名	選考方法	内 容 等
数 学	筆記試験 外国語 専門科目	英語 ・数学の基礎科目に関する基本的な問題を4題出題しますので、すべてに解答してください。 ・専門的研究を行うための基礎となる基本的事項に関する問題を出題しますので、そのうち3題を選択して解答してください。 (試験の内容については、数学専攻別紙3参照)
	面接試験	受験者全員に面接試験を行います。
物 理 学	筆記試験 (対面) 外国語 専門科目	英語 基本的な読解力と作文力を確認します。 基礎数学、力学、電磁気学、量子力学、熱・統計力学
	面接試験 (オンライン)	筆記試験合格者に対し、志望研究分野別に学力、適性について面接試験を行います。 注意：接続情報等、面接方法その他の連絡はe-mailアドレスに連絡するので、注意して受信メールを確認するようにしてください。また、指示があった場合は必ず返信してください。
天 文 学	筆記試験 外国語 専門科目	英語 (注意：辞書(電子辞書を含む)は持ち込み不可です。) 物理学
	面接試験	筆記試験合格者にのみ面接試験を行います。
地球物理学	筆記試験	数物系科目(力学、統計熱力学、流体力学、電磁気学、量子力学、弾性体力学及び数学)7問から4問を選択してください。 筆記試験と語学力認定証に基づく審査の合格者に対し、志望する領域(A, B, C)別に学力、適性について面接試験を行います。 (領域については地球物理学専攻別紙3を参照)
	面接試験	面接試験は、出願時に提出された地球物理学専攻調査票(地球物理学専攻別紙4-1, 4-2, 4-3)をもとに行います。試験の冒頭の約5分間、調査票の内容に関する説明を課します(詳細は地球物理学専攻別紙1を参照)。
化 学	筆記試験 専門科目	化学について、必修問題6問と、選択問題8問中の6問を解答してください。
	面接試験	面接が必要と判断された受験者にのみ行います。
地 学	筆記試験 専門科目	全分野共通問題1問を出題します。5頁6(1)④の(A)~(C)各分野から1問以上出題します。共通問題(必須)と各分野の問題1問(選択)の合計2問に関して解答してください。ただし、各分野からの1問出題分は志望分野から選択する必要があります。
	面接試験	受験者全員に面接試験を行います。

注) 過去の試験問題については、11頁に記載されている各専攻のウェブサイトをご参照ください。

(2) 外国人留学生等特別選考

入学者の選抜は、書類選考及び必要により実施する専門科目、外国語、日本語についての筆記試験・面接試験の結果を総合して行います。

8 選考日程等

(1) 一般選抜

専攻名	筆記試験			面接試験
	日	時	科目	
数 学	8月21日(木)	9:30~12:00	数学	8月22日(金)
		13:30~15:30	数学	
		16:15~17:00	英語	
物 理 学	8月19日(火)	9:00~10:00	基礎数学	8月21日(木) ~ 8月22日(金)
		10:30~12:30	力学及び電磁気学	
		13:30~15:30	量子力学及び熱・統計力学	
		16:00~16:30	英語	
天 文 学	8月25日(月)	10:00~11:00	英語	8月26日(火)
		12:00~14:00	物理学	
		14:30~16:30	物理学	
地球物理学	8月21日(木)	9:30~12:30	数物系科目	8月22日(金)
化 学	8月19日(火)	9:00~11:00	化学(必修)	8月20日(水)
		13:00~15:30	化学(選択)	
地 学	8月7日(木)	10:00~11:30	地球科学・地理学	8月8日(金)

(2) 外国人留学生等特別選考

① 2025年10月入学志願者の選考は、7月下旬～9月上旬に行います。

② 2026年4月入学志願者の選考は、2025年12月～2026年1月までの間に行います。

※ なお、いずれの選考も日程、選考方法等については、別途通知します。

(3) 試験場

東北大学大学院理学研究科(仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号)

なお、試験室等の詳細は、出願受付後別途通知します。

9 合格発表

(1) 合格内定者の発表

一般選抜の合格内定者の発表は、次のとおり専攻別に掲示等により行います。

専攻名	合格内定者発表日時(予定)	発表場所等
数 学	8月22日(金) 午後5時頃	数学系研究棟1階
物 理 学	8月25日(月) 午後5時頃	物理学専攻ウェブサイトに表示
天 文 学	8月26日(火) 午後5時頃	理学研究科合同C棟2階
地球物理学	8月25日(月) 午後6時頃	地球物理学専攻ウェブサイトに表示
化 学	8月20日(水) 午後6時頃	化学専攻ウェブサイトに表示
地 学	8月8日(金) 午後6時頃	地学専攻ウェブサイトに表示 (地球科学系研究棟1階エレベーターホールにも掲示)

(2) 合格者の発表

- ① 一般選抜の合格発表は、2025年9月5日（金）午前9時（予定）に理学部・理学研究科ウェブサイトにて発表します。合格者には、2025年9月5日（金）以降、合格通知書をインターネット出願システム上で通知します。
- ② 2025年10月入学の外国人留学生等特別選考の合格発表は、2025年9月5日（金）午前9時（予定）に理学部・理学研究科ウェブサイトにて発表します。合格者には、2025年9月5日（金）以降、合格通知書をインターネット出願システム上で通知します。
- ③ 2026年4月入学の外国人留学生等特別選考の合格発表は、2026年1月23日（金）午前9時（予定）に理学部・理学研究科ウェブサイトにて発表します。合格者には、2026年1月23日（金）以降、合格通知書をインターネット出願システム上で通知します。

<https://www.sci.tohoku.ac.jp/juken/graduate-admission.html>

（3）試験成績の開示について

入学試験成績の開示を求める場合は、2026年3月19日（木）までに、2026年度前期2年の課程入学試験成績開示請求フォーム（<https://forms.gle/Rxw5d4DsXLK6iSjq9>）に必要事項を記入し、受験票の写しをアップロードすることで申請してください。

原則として、合格者、不合格者それぞれについて全体を3段階に区分し、請求者の成績がどの段階に属するかを開示します（開示の内容は、専攻、コースによって異なることがあります。）。

なお、入学試験の成績は、合格発表後に順次開示します。

（成績開示申請フォーム）



10 入学手続

入学手続は、宣誓書等の書類の提出及び入学料等の経費を納入することとなります。

2026年4月入学者の入学手続の詳細は、2026年2月中旬に通知します。

2025年10月入学者の入学手続の詳細は、合格発表後に通知します。

なお、入学手続の詳細は、インターネット出願システムに登録したメールアドレス宛て又はインターネット出願システムのメッセージ機能によりお知らせします。

（1）手続期間等

- ① 2026年4月入学者の入学手続は、2026年3月中旬を予定しています。
- ② 2025年10月入学者の入学手続は、2025年9月中旬を予定しています。

（2）入学料及び授業料

- ① 入学料 282,000円（予定額）
 - ② 授業料 年額 535,800円（予定額）（前期と後期の2期に分けて納入してください。半期分は、267,900円です。）
- （注）上記の納付金額は予定額であり、納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

11 その他

個人情報の取扱い

- ① 本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- ② 入学選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続、入学前教育、追跡調査等、入学後の学生支援関係（奨学・授業料免除及び健康管理等）、修学指導等の教育目的及び授業料徴収等の関係、並びに調査・研究（入試の改善や志望動向の調査・分析等。入学者につい

ては、入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。)に利用します。

- ③ 入試・教務関係の業務については、本学から業務委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）が行うことがあります。業務委託に当たって個人情報の全部又は一部を受託業者に提供する場合には、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき適切な取扱いがなされるよう、必要な措置を講じます。

教育・学習データ利活用について

本学では、教育・学習活動において情報システム等に蓄積された個人情報を含むデータ（以下、「教育・学習データ」という。）を最新のデータ解析やA I 技術を用いて分析し、エビデンスに基づいた教育を実施していくことが重要と考えています。

そのため、「教育・学習データ利活用宣言」、「東北大学教育・学習データ取扱8原則」、「教育・学習データ利活用ポリシー」を定め、教育・学習データを有効かつ適正に利活用し、本学における教育・学習支援の充実・改善を図るとともに国民と人類の福利に貢献していきます。

入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学後、教育・学習データに統合して取り扱います。

URL : <https://www.tohoku.ac.jp/japanese/studentinfo/education/08/education0801/>

【参考】入学試験関係のウェブサイトを、次のとおり開設していますので、参照してください。

理 学 研 究 科	https://www.sci.tohoku.ac.jp/juken/
数 学 専 攻	http://www.math.tohoku.ac.jp/
物 理 学 専 攻	https://www.phys.tohoku.ac.jp/
天 文 学 専 攻	https://www.astr.tohoku.ac.jp/
地球物理学専攻	https://www.gp.tohoku.ac.jp/
化 学 専 攻	http://www.chem.tohoku.ac.jp/
地 学 専 攻	https://www.es.tohoku.ac.jp/
理学研究科入試説明総合サイト	https://www.sci.tohoku.ac.jp/godo_setsumeil/

※ 地震等不測の事態が発生した場合は、試験実施等の情報を本研究科ウェブサイトに掲載しますので、ご留意願います。

<https://www.sci.tohoku.ac.jp/juken/graduate-admission.html>

【問い合わせ先】

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号

東北大学理学部・理学研究科教務課大学院教務係

メールアドレス : sci-in@grp.tohoku.ac.jp

電 話 番 号 : 022-795-6351

2025年5月

東北大学大学院理学研究科

東北大学大学院理学研究科の概要

東北大学大学院理学研究科案内

- (1) 東北大学大学院理学研究科は、明治40年(1907年)に創立された東北帝国大学理科大学に基づいて、わが国における理学の教育研究の中心として独創的な研究実績をあげるとともに、幾多の優秀な人材を世に送り出してきました。

これまでの歴史のなかで特筆できることは、“研究第一主義”と“門戸開放”の伝統です。

研究第一主義とは、第一線の研究こそが大学人の使命であり、それによってはじめて大学における真の教育も可能になるという考え方であり、門戸開放とは、大学の門戸を広く内外に開き、大学の教育研究資源を社会に還元するとともに、それによって積極的に能力の発掘育成を図るという考え方です。この伝統が、文化勲章や学士院賞の受賞者を含む多くの指導的研究者を生み出すとともに、教育研究活動活性化の原動力となっています。

- (2) 本研究科には、博士課程がおかれ、前期2年の課程と後期3年の課程(以下「前期課程」・「後期課程」という。)に区分されています。

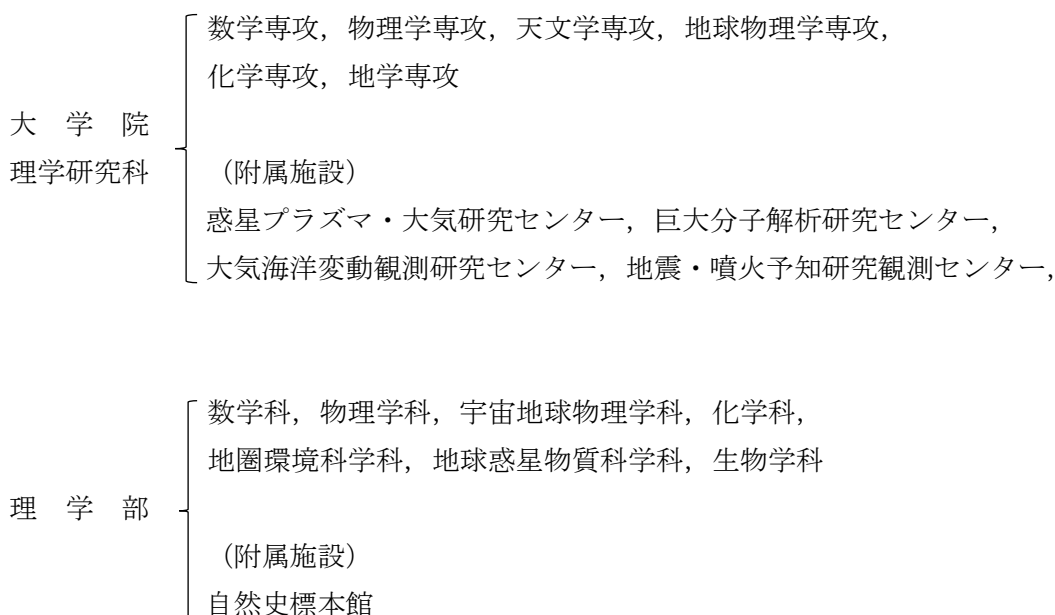
前期課程においては、2年以上在学して30単位以上を修得しなければなりません。また、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文を提出して、その審査及び最終試験に合格した者には、修士の学位が与えられます。前期課程を修了して引き続き後期課程に進学しようとする場合は、選抜試験を受けなければなりません。

後期課程においては、3年以上在学して20単位以上を修得しなければなりません。また、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文を提出して、その審査及び最終試験に合格した者には、博士の学位が与えられます。

なお、優れた研究業績をあげた者に対しては、修業年限短縮規定が適用されます。

- (3) 本研究科では、それぞれの分野の専門的知識・研究方法を十分身に付けた、高度で独創性豊かな専門家の養成をめざして教育と研究指導を行っており、研究科所属の教員に加えて、学内の協力講座及び学外の連携講座の各教員の協力の下に有機的に行われます。

《参考：本研究科等の組織》



4 授業科目、担当教員及び研究内容

(1) 数学専攻

◆印は2026年3月31日定年退職予定教員である。
◆◆印は2027年3月31日定年退職予定教員である。

授 業 科 目	講座及び教員名	所 属	研 究 内 容
(前期課程) 代 数 学 特 論 代 数 幾 何 学 特 論 数 論 特 論 数論的幾何学特論 代数解析学特論 保型関数論特論 (後期課程) 代 数 学 特 殊 講 義	代数学講座 教 授 花村昌樹◆◆ 教 授 都 築 暢 夫 教 授 大 野 泰 生 准教授 岩 成 勇 准教授 山 内 卓 也 准教授 三 柴 善 範	理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科	代数幾何学 数論及び数論幾何学 数論 代数幾何学 数論 数論
(前期課程) 幾 何 学 特 論 微 分 幾 何 学 特 論 微分位相幾何学特論 力学系理論特論 (後期課程) 幾 何 学 特 殊 講 義	幾何学講座 教 授 塩 谷 隆 教 授 寺 嶋 郁 二 教 授 正 宗 淳 教 授 松 村 慎 一 准教授 岩 渕 司 准教授 見村万佐人 准教授 横 田 巧	理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科	微分幾何学及び大域解析学 位相幾何学及び数理物理 大域解析学 複素幾何学 実解析学及び偏微分方程式論 幾何学的群論 リーマン幾何学
(前期課程) 解 析 学 特 論 複素解析学特論 実解析学特論 調和解析学特論 作用素環論特論 (後期課程) 解 析 学 特 殊 講 義	解析学講座 教 授 高 村 博 之 教 授 田 中 敏 教 授 中 野 史 彦 教 授 針 谷 祐 准教授 赤 間 陽 二 准教授 藤江健太郎 准教授 阿 部 圭 宏	理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科	非線形発展方程式 非線形解析学 数理物理学及び確率論 確率論 理論計算機科学 偏微分方程式論 確率論
(前期課程) 複素多様体論特論 大域解析学特論 表現論特論 数理物理学特論 (後期課程) 多様体論特殊講義	多様体論講座 教 授 楯 辰 哉 教 授 竹 内 潔 教 授 山 木 壺 彦 教 授 岡 部 真 也 准教授 長谷川浩司 准教授 高 橋 良 輔	理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科	大域解析学 代数解析学、特異点理論 代数幾何学 非線形解析学及び変分法 表現論及び数理物理学 複素幾何学、幾何解析、代数幾何学
(前期課程) 応 用 数 理 特 論 常微分方程式論特論 偏微分方程式論特論 非線形解析学特論 数学基礎論特論 (後期課程) 応 用 数 理 特 殊 講 義	応用数理講座 教 授 赤 木 剛 朗 教 授 横 山 啓 太 准教授 山 崎 武 准教授 猪 奥 倫 左	理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科	関数解析学及び発展方程式論 数理論理学、数学基礎論 数学基礎論 偏微分方程式論及び関数不等式
(前期課程) 物質階層融合科学特別講義 (後期課程) 物質階層融合科学特殊講義	相関数理解析講座 教 授 水 藤 寛 教 授 千 葉 逸 人 教 授 安 東 弘 泰 准教授 井 上 和 俊	材料科学高等研究所 材料科学高等研究所 材料科学高等研究所 材料科学高等研究所	応用数理学 力学系理論 数理工学 幾何学

(2) 物理学専攻

授 業 科 目	講座及び教員名	所 属	研 究 内 容
(前期課程) 場の量子論基礎 場の量子論特論 素粒子論特論 原子核理論特論 数値量子物理学特論 宇宙基礎物理学特論 (後期課程) 量子基礎物理学特殊講義	量子基礎物理学講座 教 授 山口昌弘 教 授 高橋史宜 教 授 肥山詠美子 教 授 隅野行成 准教授 石川 洋 准教授 佐々木勝一 准教授 米倉和也 准教授 中山和則 准教授 山田將樹 准教授 渡邊和宏 講 師 吉田大輔	理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科	1 超対称理論, 大統一理論, 余剰次元理論等の素粒子モデルの研究 2 超弦理論, 量子重力理論, 数値物理学の研究 3 コライダー等の高エネルギー現象の理論 4 初期宇宙の理論とその素粒子物理への応用 5 場の理論とその応用 6 クォーク・グルーオン多体系としてのハドロンの構造 7 ハイパー核, 不安定核, マルチクォークシステムの構造研究
(前期課程) 素粒子物理学基礎 原子核物理学基礎 高エネルギー物理学特論 原子核物理学特論 (後期課程) 素粒子・原子核物理学特殊講義	素粒子・核物理学講座 教 授 田村裕和◆ 教授(委) 中村 哲 教 授 市川温子 教 授 三輪浩司 准教授 岩佐直仁 准教授 市川裕大 准教授 金田雅司 准教授 三木謙二郎 准教授 鵜養美冬	理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科	1 原子核及びハドロンの実験的研究 2 ストレンジェネス核物理の研究 3 エキゾティック核物理の研究 4 短寿命核ビーム物理の研究 5 加速器を用いた素粒子物理の実験的研究 6 ニュートリノ物理学の研究
(前期課程) 物質物理学基礎 電子物性学特論 凝縮系物理学特論 固体物理学特論 固体相関物理学特論 (後期課程) 電子物理学特殊講義 相関物理学特殊講義	電子物理学講座 教 授 大串研也 教授(兼) 佐藤宇史 教 授 若林裕助 教 授 木村憲彰 教 授 中村優男 准教授 松井広志 准教授 下谷秀和 准教授 菅原克明 准教授 今井良宗 准教授 齋藤真器名 准教授 水上雄太	理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科	1 高温超伝導体及びトポロジカル絶縁体の超高分解能光電子分光研究 2 低次元分子性導体及び生体・多孔性超分子系の量子輸送現象 3 X線回析による凝縮系の構造及びダイナミクス 4 極限環境下での強相関電子系の物性・電子状態 5 強相関電子系の物質開発及び物性開拓 6 薄膜ヘテロ界面における量子物性と光電子機能の開拓
(前期課程) 固体分光学基礎 光物性学特論Ⅰ, Ⅱ 化学物理学特論 (後期課程) 量子物性物理学特殊講義	量子物性物理学講座 教 授 岩井伸一郎 教 授 遊佐 剛 教 授 金田文寛 教授(委) 松原正和 准教授 川上洋平	理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科	1 極短パルスレーザーを用いた強相関電子系のアト秒電子ダイナミクスの研究 2 低次元量子多体系と極限宇宙に関する実験研究 3 量子もつれ光子を用いた量子の基礎と量子光科学の研究 4 光物性物理学の実験的研究

授 業 科 目	講座及び教員名	所 属	研 究 内 容
(前期課程) 固 体 統 計 基 礎 固 体 電 子 論 特 論 統 計 物 理 学 特 論 (後期課程) 固体統計物理学特殊講義	固体統計物理学講座 教 授 川勝年洋◆ 教 授 是 常 隆 教 授 柴 田 尚 和 准教授 内 田 就 也 准教授 佐 藤 駿 丞 准教授 那 須 讓 治	理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科	凝縮系の構造と物理的性質に関する統計力学, 量子力学及び計算物理学に基づいた理論研究 1 強い電子相関による創発量子現象の研究 2 ナノ構造の電子状態と新規物性の設計 3 ソフトマターやアクティブマターの構造と動力学の研究 4 統計基礎論および量子相転移理論の研究
	相関物理学講座		
(前期課程) 生 体 物 性 学 特 論 ソフトマター物理学特論 (後期課程) 領域横断物理学特殊講義 量子物性物理学特殊講義	領域横断物理学講座 教 授 今井正幸◆ 准教授 佐久間由香	理学研究科 理学研究科	1 ソフトマター物理を基礎とした生命現象の解明 2 生体膜の構造と物性
(前期課程) クォーク核物理学特論 電子線核物理学特論 ビーム物理学特論 (後期課程) 原子核理学特殊講義	原子核理学講座 教 授 大 西 宏 明 准教授 柏 木 茂 特任教授 村 松 憲 仁 准教授 日 出 富 士 雄 准教授 菊 永 英 寿	先端量子ビーム 先端量子ビーム 先端量子ビーム 先端量子ビーム 先端量子ビーム	1 GeV 光子ビームによるクォーク核物理の研究 2 古典多体系ビーム動力学と荷電粒子からの放射 3 電子散乱による陽子半径と短寿命不安定核の研究 4 原子核壊変に対する化学効果
(前期課程) 素粒子物理学基礎 宇宙基礎物理学特論 非加速器物理学特論 (後期課程) 高エネルギー物理学特殊講義 素粒子物理学特殊講義	高エネルギー物理学講座 教 授 井 上 邦 雄 教 授 岸 本 康 宏 教 授 清 水 格 准教授 古 賀 真 之 准教授 石 徹 白 晃 治 准教授 市 村 晃 一 准教授 渡 辺 寛 子 准教授 池 田 晴 雄	ニ科学研究所 ニ科学研究所 ニ科学研究所 ニ科学研究所 ニ科学研究所 ニ科学研究所 ニ科学研究所 ニ科学研究所	1 大型素粒子検出器による高エネルギー物理学, ニュートリノ物理学, ニュートリノ地球物理学, ニュートリノ天文学の実験的研究 2 極低放射能環境での素粒子研究, 宇宙物質・反物質非対称性や宇宙暗黒物質に関する実験的研究
(前期課程) 結 晶 物 理 学 特 論 表 面 物 理 学 特 論 (後期課程) 結晶物理学特殊講義	結晶物理学講座 教 授 藤 原 航 三 教 授 小 野 瀬 佳 文 准教授 森 戸 春 彦	金属材料研究所 金属材料研究所 金属材料研究所	1 半導体結晶中の格子欠陥の原子構造, 動的物性, 反応ならびに電子構造の研究 2 トポロジ対象性の破れによる磁性体結晶による新量子現象・新物質機能の開拓 3 結晶成長過程における固液界面の動的競合物性の研究, フラックス法による新物質の創生と新機能開拓

授 業 科 目	講座及び教員名	所 属	研 究 内 容
(前期課程) 金属物理学特論 磁気物理学特論 金属電子物理学特論 (後期課程) 金属物理学特殊講義	金属物理学講座 教授 野尻浩之 教授 佐々木孝彦 教授 藤田全基 教授 野村悠祐 准教授 野島 勉 准教授 井口 敏 准教授 南部雄亮 准教授 村上雄太	金属材料研究所 金属材料研究所 金属材料研究所 金属材料研究所 金属材料研究所 金属材料研究所 金属材料研究所 金属材料研究所	1 中性子, X線, 光, 磁気および輸送測定による金属, 半導体, 有機物, 化合物等の研究 2 強相関電子系物質およびトポロジカル電子系の探索と電子状態の研究 3 超伝導現象および超伝導電子状態の制御に関する研究 4 スピントロニクスおよび関連現象の研究 5 計算科学的・理論的手法による量子物性・非平衡物性の理解・設計
(前期課程) 分光物理学特論 回折・分光特論 (後期課程) 分光物理学特殊講義	分光物理学講座 教授 寺内正己 教授 佐藤 卓 教授 虻川匡司 准教授 佐藤庸平 准教授 那波和宏	多元物質科学研究所 多元物質科学研究所 多元物質科学研究所 多元物質科学研究所 多元物質科学研究所	1 電子分光・回折, 軟X線発光分光によるナノスケール物性の実験的研究 2 中性子分光法による固体中のスピンドYNAMIKSの実験的研究 3 電子回折・電子分光による表面構造とそのダイナミクスの実験的研究
(前期課程) 核放射線物理学特論 (後期課程) 核放射線物理学特殊講義	核放射線物理学講座 教授 伊藤正俊 教授 寺川貴樹 教授(客) 酒見泰寛	先端量子ビーム科学研究所 先端量子ビーム科学研究所 東京大学 原子核科学研究センター	1 原子核の新しい励起モード・クラスター構造の研究 2 サイクロトロン加速器に関する開発研究 3 レーザー冷却放射性元素を用いた基本対称性・基本相互作用の研究及び関連する放射線計測技術の研究
(前期課程) 加速器科学特論	(連携・委嘱)加速器科学 教授(客) 金正倫計	日本原子力研究開発機構	大強度陽子加速器に関する開発研究
(前期課程) 強相関電子物理学特論	(連携・委嘱)強相関電子物理学 教授(客) 徳永 陽 教授(委) 解良 聡 教授(客) 山浦一成	日本原子力研究開発機構 分子科学研究所 物質・材料研究機構	1 光電子分光による強相関電子系物質の電子状態の研究 2 光電子分光による有機半導体の電子状態の研究 3 放射光の基礎と赤外線領域を利用した物性研究
(前期課程) 量子機能計測特論	(連携・委嘱)量子機能計測 教授(客) 大谷知行 准教授(客) 藪野正裕	理化学研究所 情報通信研究機構	1 細胞集団の形態と病理 2 テラヘルツを用いた量子計測

(3) 天文学専攻

授 業 科 目	講座及び教員名	所 属	研 究 内 容
(前期課程) 恒星物理学特論 星間物理学特論 銀河物理学特論 電波天文学特論 理論天体物理学特論 相対論的天体物理学特論 天体計測学特論	天 文 学 講 座 教 授 千 葉 柁 司 教 授 田 中 秀 和 教 授 秋 山 正 幸 教 授 兒 玉 忠 恭 教 授 田 中 雅 臣 准教授 服 部 誠◆◆ 准教授 村 山 卓 准教授 野 田 博 文 准教授(兼) 木 村 成 生	理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 学 際 科 学 フロンティア研究所	銀河物理学 惑星形成論, 惑星天文学 銀河物理学, 観測装置開発 銀河進化論, 銀河・銀河団天文学 時間軸天文学 ミリ波サブミリ波天文学 銀河, 活動銀河核の観測的研究 X線天文学, 飛翔体搭載装置開発 高エネルギー宇宙物理学
(後期課程) 恒星物理学特殊講義 星間物理学特殊講義 銀河物理学特殊講義 理論天体物理学特殊講義 電波天文学特殊講義 相対論的天体物理学特殊講義	理論天体物理学講座 教 授 大 向 一 行 教授(兼) 當 真 賢 二 准教授 富 田 賢 吾 准教授 檜 山 和 己	理学研究科 学 際 科 学 フロンティア研究所 理学研究科 理学研究科	宇宙物理学, 天体形成論 高エネルギー宇宙物理学 シミュレーション天文学, 星惑星系形成論 宇宙物理学, マルチメッセンジャー天文学

(4) 地球物理学専攻

授 業 科 目	講座及び教員名	所 属	研 究 内 容
(前期課程) 地 震 学 特 論 震 源 物 理 学 特 論 地 殻 物 理 学 特 論 地震火山計測学特論 火山物理学特論 固体地球物理学特論 (後期課程) 固体地球物理学特殊講義	固体地球物理学講座 ※地震・火山学分野 教 授 西 村 太 志 准教授 中 原 恒 特任教授 三 浦 哲 教授(客) 小 平 秀 一 教授(委) 藤 原 広 行 准教授(委) 小 澤 拓	理学研究科 理学研究科 理学研究科 海洋研究開発機構 防災科学技術研究所 防災科学技術研究所	固体地球の不均質性や複雑性に着目し, 変動する固体地球の構造や断層運動, 地震波の伝播特性, 火山噴火やそれに関連する諸現象を支配する法則を, 理論・観測の両面から明らかにすることを目指している。同時に関連分野を視点に入れた固体地球物理学の幅広い教育と研究を行う。
	地殻物理学講座 ※沈み込み帯物理学分野 教 授 趙 大 鵬 教 授 日 野 亮 太 教 授 岡 田 知 己 教 授 太 田 雄 策 教授(兼) 木 戸 元 之 准教授 矢 部 康 男 准教授 山 本 希 准教授 吉 田 圭 佑 准教授 高 木 涼 太 准教授(兼) 福 島 洋	理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 災害科学国際研究所 理学研究科 理学研究科 理学研究科 災害科学国際研究所	プレート運動に伴う大規模テクトニクスに共通の基盤を持つ島弧・海溝系の地震・火山噴火現象が対象である。 東北地方に展開した地震・火山観測施設を利用し, 海底における地震・測地学的観測を合わせて, 地殻, マントル, コアの構造, 地殻変動や地震発生機構, マグマ生成・上昇や噴火過程, 地震予知・噴火予知手法やその体系化に関する教育と研究を行う。

授 業 科 目	講座及び教員名	所 属	研 究 内 容
(前期課程) 気 象 学 特 論 大 気 物 理 学 特 論 大 気 力 学 特 論 海 洋 物 理 学 特 論 大気海洋相互作用特論 大 気 放 射 学 特 論 気 候 物 理 学 特 論 衛 星 海 洋 学 特 論 海 洋 環 境 科 学 特 論 先 端 海 洋 物 理 学 (後期課程) 流体地球物理学特殊講義 気候システム物理学特殊講義	流体地球物理学講座 ※気象学分野 教 授 山 崎 剛 ※大気力学分野 准教授 余 偉 明 准教授 伊 藤 純 至	理学研究科 理学研究科 理学研究科	気象学分野では、大気と陸面の相互作用、水循環、局地気象、植生や雪水と気象の関わりについて研究と教育を行う。 大気力学分野では、乱流から大気大循環に至る気象現象の力学と数値シミュレーションに関する研究と教育を行う。
	地球環境物理学講座 ※海洋物理学分野 教 授 須 賀 利 雄 教授(兼) 石 川 洋 一 教授(兼) Keith RODGERS 准教授 木 津 昭 一 准教授 杉 本 周 作	理学研究科 変動海洋エコシステム高等研究所 (海洋研究開発機構) 変動海洋エコシステム高等研究所 理学研究科 理学研究科	地球環境に深く関わる地球規模の気候変動における海洋の役割、大規模大気海洋相互作用の物理過程、大気に連動した大規模な海洋変動の究明の他、海洋物理学全般の研究と教育を行う。
	大気海洋変動学講座 ※物質循環学分野 教 授 森 本 真 司 教 授 梅 澤 拓 教授(委) Prabir K. PATRA ※気候物理学分野 教 授 岩 渕 弘 信 ※衛星海洋学分野 教 授 安中さやか 教授(兼) 河宮未知生 准教授 境 田 太 樹 准教授(兼) Baolan WU	理学研究科 理学研究科 海洋研究開発機構 理学研究科 理学研究科 変動海洋エコシステム高等研究所 (海洋研究開発機構) 理学研究科 変動海洋エコシステム高等研究所	気候や地球環境の変動の実態や機構を理解するため、大気海洋結合系における力学・物理・生物地球化学を対象に、温室効果ガス・雲・エアロゾル等の大気組成変動、気候変動とそれに対するフィードバック作用、大気海洋変動およびその相互作用に関する教育と研究を行う。
(前期課程) 太陽系物理学特論 宇宙空間プラズマ物理学特論 惑星大気物理学特論 電磁圏物理学特論 超高層大気物理学特論 惑星電波物理学特論 宇宙空間計測学特論 (後期課程) 太陽惑星空間物理学特殊講義	太陽惑星空間物理学講座 ※宇宙地球電磁気学分野 教 授 加 藤 雄 人 准教授 熊 本 篤 志 ※惑星大気物理学分野 教 授 寺 田 直 樹 准教授 中 川 広 務 准教授(兼) 村 田 功	理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 環境科学研究科	「宇宙地球電磁気学」および「惑星大気物理学」の二分野から成る。 ○宇宙地球電磁気学分野 地球を含む惑星及び惑星間空間に生起するプラズマ現象や電波・電磁現象を解明する研究と教育を行う。 ○惑星大気物理学分野 地球及び惑星大気圏・電磁圏の構造・組成・ダイナミクス・進化を観測・数値実験で解明する研究と教育を行う。
	惑星圏物理学講座 ※惑星圏物理学分野 教 授 笠 羽 康 正 教 授 土 屋 史 紀 准教授 三澤浩昭◆◆ 准教授 坂野井 健 准教授(委) 山 崎 敦	理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科 宇宙航空研究開発機構	惑星の電磁圏及び超高層大気圏で生じているプラズマ・大気現象を、電波および光の両面から地上遠隔観測し、高エネルギー粒子の加速過程、惑星プラズマの起源と加熱・加速過程、およびプラズマと大気の相互作用過程に関する研究と教育を行う。

(5) 化学専攻

授 業 科 目	講座及び教員名	所 属	研 究 内 容
(前期課程) 無機・分析化学特論ⅠA 無機・分析化学特論ⅠB	無機・分析化学講座 教 授 橋 本 久 子 講 師 小 室 貴 士	理学研究科 理学研究科	1 新奇的結合や構造を有する遷移金属錯体の合成研究 2 高活性な錯体触媒の開発と小分子活性化 3 ユビキタス元素に基づく金属クラスターの合成と機能開発
無機・分析化学特論ⅡA 無機・分析化学特論ⅡB	教 授 西 澤 精 一 准教授 佐 藤 雄 介 准教授 盛 田 伸 一	理学研究科 理学研究科 理学研究科	1 遺伝子分析法並びに生細胞内核酸イメージング法の開発 2 エクソソームを中心とした細胞外小胞機能解析法の開発 3 生細胞等のラマン顕微鏡分析, 赤外分光分析, 及び数理解析法の開発
無機・分析化学特論ⅢA 無機・分析化学特論ⅢB	教 授 坂 本 良 太 准教授 高 石 慎 也	理学研究科 理学研究科	1 分子性ナノ材料に関する研究 2 錯体化学を基盤としたエネルギー貯蔵・変換に関する研究
(後期課程) 化学特殊講義Ⅱ 化学特殊講義Ⅴ 化学特殊講義Ⅵ	無機・分析化学講座の教員		
(前期課程) 有機化学特論ⅠA 有機化学特論ⅠB	有機化学講座 教 授 上 田 実	理学研究科	天然物ケミカルバイオロジー, 特に生物現象をコントロールする天然物リガンドの活性発現と活性制御に関する生物有機化学的研究
有機化学特論ⅡA 有機化学特論ⅡB	教 授 岩 本 武 明 准教授 石田真太郎	理学研究科 理学研究科	有機典型元素化学, 特に高周期典型元素を含む特異な構造・結合様式を有する有機関連物質の合成, 構造と反応の研究
有機化学特論ⅢA 有機化学特論ⅢB	教 授 林 雄二郎◆◆ 講 師 森 直 紀	理学研究科 理学研究科	1 天然有機化合物の合成。特に強力な生物活性を有する天然物の独創的手法による合成に関する研究 2 新規反応の開発, 特に不斉触媒反応と環境調和型反応の開発に関する研究
有機化学特論ⅣA 有機化学特論ⅣB	教 授 豊田耕三◆◆ 准教授 佐々木 茂	理学研究科 理学研究科	1 硫黄複素環化合物を分子足場とする大規模分子系・配位子の構築研究 2 特異な構造を有する有機リン化合物の合成, 性質, 反応性の研究 3 多様な置換基を有するオリゴアレーン類の合成研究
(後期課程) 化学特殊講義	有機化学講座の教員		

授 業 科 目	講座及び教員名	所 属	研 究 内 容
(前期課程) 物理化学特論ⅠA 物理化学特論ⅠB	物理化学講座 教 授 美齊津文典◆◆ 准教授 岸 本 直 樹	理学研究科 理学研究科	1 化学反応動力学, 反応物理化学 2 原子分子衝突・光励起による化学反応過程の研究 3 レーザー分光法・質量分析法及びイオン移動度分析法による原子分子小集団の構造と動力学の研究 4 様々な化学反応過程の量子化学的研究 5 内包フラーレンをはじめとする新規ナノカーボンの合成と物性
物理化学特論ⅡA 物理化学特論ⅡB	教 授 藤 井 朱 鳥 准教授 大槻幸義◆	理学研究科 理学研究科	1 超音速分子線レーザー分光法による分子及び分子クラスターの構造と動的過程に関する研究 2 非線形光学過程を用いた新しいレーザー分子分光法の開発 3 分子の光励起ダイナミクスと反応制御の理論 4 機械学習と量子情報処理を取り入れた分子動力学法の開発
物理化学特論ⅢA 物理化学特論ⅢB	教 授 叶 深 穰 准教授 柴 田	理学研究科 理学研究科	1 界面物理化学, 電気化学 2 二次蓄電池の電極反応機構解明と新規電極触媒開発に関する研究 3 バイオマテリアルの界面構造と機能性発現に関する研究 4 光合成を中心とした光生物物理化学
物理化学特論ⅣA 物理化学特論ⅣB			
物理化学特論ⅤA 物理化学特論ⅤB	教 授 森 田 明 弘 准教授 高 橋 英 明	理学研究科 理学研究科	1 溶液内分子の電子状態と分子動力学シミュレーション 2 表面・界面の和周波発生分光の理論と計算 3 液体界面での物質移動と化学反応の理論 4 生体内化学反応の自由エネルギー解析
(後期課程) 化 学 特 殊 講 義	物理化学講座の教員		
(前期課程) 境界領域化学特論ⅠA 境界領域化学特論ⅠB	境界領域化学講座 教 授 寺 田 眞 浩 教授(兼) 中 村 達 准教授(兼) 金 鉄 男 准教授(兼) 近 藤 梓	理学研究科 理学研究科 理学研究科 理学研究科	1 有機分子触媒による選択的不斉合成反応の開発 2 酵素類似型触媒による有機変換反応の開発 3 有機金属触媒を用いる新合成反応の開発 4 ナノ構造金属触媒を用いた高度分子変換反応の開発 5 新規 π 拡張縮環骨格の触媒的構築法の開発と新規光電子材料の設計・合成への応用
境界領域化学特論ⅡA 境界領域化学特論ⅡB	教 授 瀧 宮 和 男 准教授 川 畑 公 輔	理学研究科 理学研究科	1 高性能有機半導体の分子設計と合成 2 分子集合体の形成と物性 3 有機半導体の機能研究

授 業 科 目	講座及び教員名	所 属	研 究 内 容
境界領域化学特論Ⅲ A 境界領域化学特論Ⅲ B	教 授 福 村 知 昭	理学研究科	1 固体材料の電気特性 2 固体材料の磁性と超伝導 3 固体材料の物質・物性の開発
(後期課程) 化 学 特 殊 講 義	境界領域化学講座の教員		
(前期課程) 先端理化学特論Ⅰ A 先端理化学特論Ⅰ B 先端理化学特論Ⅱ A	先端理化学講座 教 授 木 野 康 志	理学研究科	1 エキゾチック原子・分子及び反粒子の化学 2 放射性元素の化学
先端理化学特論Ⅲ A 先端理化学特論Ⅲ B	教授(兼) 大 橋 一 正 准教授(兼) 安 元 研 一	生命科学研究科 生命科学研究科	1 細胞内シグナル伝達 2 細胞応答における細胞骨格再構築の役割 3 低酸素環境による遺伝子発現制御機構
(後期課程) 化 学 特 殊 講 義	先端理化学講座の教員		
(前期課程) 化学反応解析特論Ⅰ A 化学反応解析特論Ⅰ B	化学反応解析講座 教 授 米 田 忠 弘 講 師 高 岡 毅	多元物質科学研究所 多元物質科学研究所	1 走査型プローブ顕微鏡を用いた局所化学分析手法開発 2 局所分光を基盤とする新しい環境触媒開発 3 2次元層状物質を用いた極微電極と組み合わせた分子アーキテクトニクス構築 4 分子のスピンを用いた量子情報処理・分子スピントロニクス学理基盤構築
化学反応解析特論Ⅱ A	教 授 根 岸 雄 一 准教授 川 脇 徳 久	多元物質科学研究所 多元物質科学研究所	1 金属クラスターの精密合成法および連結法の開発 2 精密金属クラスターを用いたエネルギー・環境触媒の開発 3 共有結合性有機構造体を用いたエネルギー・環境触媒の開発
化学反応解析特論Ⅲ A 化学反応解析特論Ⅲ B	教 授 和 田 健 彦 准教授 荒 木 保 幸	多元物質科学研究所 多元物質科学研究所	1 細胞内環境応答型人工核酸の開発 2 がん細胞選択的核酸医薬の開発 3 生体高分子をキラルナノリアクターとする超分子不斉光反応系の構築 4 高感度・高時間分解円二色測定装置の開発 5 光励起ダイナミックスの解析と制御に基づく新規デバイス開発

授 業 科 目	講座及び教員名	所 属	研 究 内 容
化学反応解析特論Ⅳ A 化学反応解析特論Ⅳ B	教 授 組 頭 広 志	多元物質科学研究所	1 酸化物ナノ構造の表面・界面機能 2 酸化物エレクトロニクス材料の物性化学 3 放射光解析による電子・化学状態とそれに基づく物質設計
	教 授 南後恵理子	多元物質科学研究所	1 生体分子内で起こる反応・構造変化解明 2 X線自由電子レーザーによる分子構造解析法の開発 3 動的構造に基づく分子設計応用
化学反応解析特論Ⅴ A 化学反応解析特論Ⅴ B	准教授 福 山 真 央	多元物質科学研究所	1 ナノ・マイクロ分析化学の開拓 2 ナノ・マイクロ空間の界面化学と検出法・イメージング法
化学反応解析特論Ⅵ A			
(後期課程) 化 学 特 殊 講 義	化学反応解析講座の教員		
(前期課程) 固体化学特論Ⅰ A	固 体 化 学 講 座 教 授 宮 坂 等 亘 准教授 高 坂 亘	金属材料研究所 金属材料研究所	1 錯体化学を基にした電子・スピン機能性物質の開拓 2 分子スピントロニクス材を目指したソフトマテリアル強磁性導電体の開発 3 新しいナノサイズ磁石の創成と新規物質への展開 4 分子凝縮系におけるマルチレドックスシステムの開発 5 酸化還元活性多孔性分子材料の開発とホスト・ゲスト相互作用による電子・スピン協奏現象の開発
	教 授 笠 井 均 講 師 岡 弘 樹	多元物質科学研究所 多元物質科学研究所	1 独自手法による機能性有機ナノ粒子の創製 2 有機ナノ粒子を用いた次世代薬剤の開発 3 エネルギー製造・貯蔵・変換を担う革新的な機能性有機材料の創製
固体化学特論Ⅱ A			
固体化学特論Ⅲ A 固体化学特論Ⅲ B			
(後期課程) 化 学 特 殊 講 義	固体化学講座の教員		
(前期課程) 生体機能化学特論Ⅲ A	生体機能化学講座 教 授 永 次 史 准教授 鬼 塚 和 光	多元物質科学研究所 多元物質科学研究所	1 遺伝子発現を化学的に制御する機能性人工核酸の設計・合成・評価 2 In Cell Chemistry を目指した新規機能性分子の設計・合成・評価
生体機能化学特論Ⅰ A			

授 業 科 目	講座及び教員名	所 属	研 究 内 容
生体機能化学特論Ⅱ A	教 授 高 橋 聡	多元物質科学研究所	1 一分子蛍光分光法など生体分子ダイナミクスを観察する新規手法の開発 2 蛋白質が折り畳む性質の理解を目指した実験的研究 3 蛋白質の構造と機能を理解するための物理化学的な基盤の構築
生体機能化学特論Ⅳ A	教 授 水 上 進 准教授 小和田俊行	多元物質科学研究所 多元物質科学研究所	1 バイオイメージングプローブの開発 2 機能性分子を用いた生体機能の光操作技術の開発 3 機能性プローブを用いた細胞機能・疾患機構の解明および治療法の開発
(後期課程) 化 学 特 殊 講 義	生体機能化学講座の教員		
(前期課程) 分離化学特論Ⅰ A 分離化学特論Ⅰ B	(連携・委嘱) 分離化学 教授(委) 川 波 肇 教授(委) 金久保光央 教授(委) 伊 藤 徹 二	産業技術総合研究所 産業技術総合研究所 産業技術総合研究所	1 超臨界流体による物質分離と化学反応場としての利用 2 イオン液体の溶媒機能の解明と分離技術の開発 3 生体の分子認識機能を付与した分離・センシング材料の開発
(前期課程) 重元素化学特論Ⅰ A 重元素化学特論Ⅰ B	(連携・委嘱) 重元素化学 教授(客) 渡 邊 雅 之 教授(客) 北 辻 章 浩 准教授(客) 佐 藤 哲 也	日本原子力研究開発機構 日本原子力研究開発機構 日本原子力研究開発機構	1 4f, 5f 元素の溶液化学 2 超重元素の化学 3 核燃料サイクル化学

(6) 地学専攻

授 業 科 目	講座及び教員名	所 属	研 究 内 容
(前期課程) 地 殻 力 学 特 論 Ⅰ 地 殻 力 学 特 論 Ⅱ 地 圏 進 化 学 特 論 Ⅰ 地 圏 進 化 学 特 論 Ⅱ (後期課程) 地 殻 進 化 学 特 殊 講 義 地 圏 進 化 学 特 殊 講 義 (前期課程) 変 成 岩 特 論 Ⅰ・Ⅱ (後期課程) 地 殻 化 学 特 殊 講 義	地圏進化学講座 教 授 長 濱 裕 幸 ◆◆ 教 授 武 藤 潤 教 授 辻 森 樹	理学研究科 理学研究科 理学研究科	(1) 構造地質学 (2) 地球惑星電磁気学 (1) 造山帯地質学 (2) 変成岩岩石学
(前期課程) 古 海 洋 学 特 論 サンゴ礁古生物学特論 サ ン ゴ 礁 学 特 論 (後期課程) 地 圏 環 境 進 化 学 特 殊 講 義	准教授 高 柳 栄 子 准教授 浅 海 竜 司	理学研究科 理学研究科	(1) 炭酸塩堆積学・地球化学 (2) 炭酸塩生物骨格・殻及び堆積物を用いた古環境解析

授 業 科 目	講座及び教員名	所 属	研 究 内 容
(前期課程) 地球環境変遷学特論	自然史科学講座 教 授 高 嶋 礼 詩	芸術資源研究	(1) 地球環境変遷学
(前期課程) 群集進化学特論 生物事変学特論 (後期課程) 生物系統進化学特殊講義	地圏進化学講座 准教授 鈴木紀毅	理学研究科	(1) 群集生態学・群集進化学
(前期課程) 地 圏 環 境 学 特 論 環境動態論特論Ⅰ (後期課程) 環境動態論特殊講義	環境動態論講座 准教授 高柳栄子	理学研究科	(1) 地質学・古生物学
(前期課程) 自 然 災 害 特 論	自然災害学講座 准教授 菅原大助	災害科学国際研究所	(1) 自然災害学
(前期課程) 地圏物質循環学特別講義Ⅰ・Ⅱ	(連携・委嘱)地圏物質循環学 教授(委) 高橋美紀		(1) 第四紀の炭素循環 (2) 実験地震学
(前期課程) 生命起源地球科学特論Ⅰ・Ⅱ 資源地球化学特論 (後期課程) 資源環境地球化学特殊講義	地球惑星物質科学講座 教 授 掛 川 武 准教授 古川善博	理学研究科 理学研究科	(1) 初期地球表層での元素の集散メカニズムの研究 (2) 生命起源に関する研究 (3) 先カンブリア時代の生物進化と環境変動
(前期課程) 太陽系始源物質科学特論Ⅰ・Ⅱ (後期課程) 初期太陽系進化学特殊講義	教 授 中 村 智 樹 講 師 中 嶋 大 輔	理学研究科 理学研究科	(1) 太陽系始源物質の同位体宇宙化学的研究 (2) 物質科学的証拠に基づく太陽系形成モデル
(前期課程) 火山学・地質流体論特論Ⅰ・Ⅱ 地球物質移動学特論Ⅰ・Ⅱ (後期課程) 火山学・地質流体論特殊講義	教 授 中 村 美 千 彦 准教授 奥村 聡	理学研究科 理学研究科	(1) 火山学 (2) マグマ・地質流体の地球科学, 岩石組織形成論
(前期課程) 量子ビーム地球科学特論Ⅰ・Ⅱ 地球内部物理化学特論Ⅰ・Ⅱ 比較固体惑星学特論Ⅰ・Ⅱ (後期課程) 量子ビーム地球科学特殊講義 比較固体惑星学特殊講義 超高压鉱物物理学特殊講義	准教授 鈴木昭夫	理学研究科	(1) 地球型惑星の内部構造と形成・進化の研究 (2) 高温高压下における地球内部物質の物性の研究 (3) 高温高压発生技術の開発研究 (4) 地球型惑星と氷天体の比較惑星学
(前期課程) 応 用 鉱 物 学 特 論 (後期課程) グローバル結晶科学特殊講義	教 授 大 藤 弘 明	理学研究科	(1) 天然・実験室における鉱物の結晶化・組織化機構 (2) 地球深部炭素循環とダイヤモンドの起源 (3) 様々な地球・社会環境における結晶の成長と溶解
(前期課程) 鉱物構造論特論Ⅰ・Ⅱ 鉱物成因論特論Ⅰ・Ⅱ (後期課程) 鉱 物 学 特 殊 講 義	自然史科学講座 准教授 長瀬敏郎 地球惑星物質科学講座 准教授 栗林貴弘	芸術資源研究 理学研究科	(1) 鉱物組織の研究 (2) 準安定相の生成過程 (3) 鉱物結晶の構造に関する研究

授 業 科 目	講座及び教員名	所 属	研 究 内 容
(前期課程) 岩石学・固体地球化学特論Ⅰ・Ⅱ (後期課程) 岩石学・固体地球化学特殊講義	地殻化学講座 教 授 平 野 直 人	東北アジア研究センター	(1) 固体地球化学・惑星学 (4) 火成岩岩石学 (2) 同位体岩石学 (5) マントル岩石学 (3) 地質年代学 (6) 火山学
(前期課程) 地球惑星物質科学特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ (後期課程) 地球惑星物質科学特殊講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	(連携・委嘱) 地球内部反応 准教授(委) 宮 城 磯 治 准教授(委) 小 川 和 律 教授(客) 鈴 木 勝 彦	総合地質調査 宇宙航空研究開発機構 海洋研究開発機構	(1) 火山噴火に関する研究 (2) 日本の太陽系探査計画の戦略と欧 米の探査計画の動向 (3) 過去の月惑星探査で得られた証拠 に基づく月および惑星の形成学 (4) 放射性同位体を用いた地球化学的 研究
(前期課程) 人文地理学特論Ⅰ 人文地理学特論Ⅱ 地域形成論特論 地域環境論特論 環境地理学Ⅱ (後期課程) 人間環境地理学特殊講義Ⅰ 人間環境地理学特殊講義Ⅱ	環境地理学講座 教授(兼) 中 谷 友 樹 准教授 磯 田 弦	環境科学研究科 理学研究科	(1) 人文地理学 (2) 都市地理学 (3) 経済地理学 (4) 地理情報科学 (5) 空間統計学 (6) 空間疫学 (7) 社会調査法 (8) 災害研究
(前期課程) 地形学特論Ⅰ 地形学特論Ⅱ 気候学特論Ⅰ 気候学特論Ⅱ 環境地理学Ⅰ (後期課程) 自然環境地理学特殊講義Ⅰ 自然環境地理学特殊講義Ⅱ	教 授 堀 和 明	理学研究科	(1) 自然地理学 (2) 地形学
(前期課程) 環境動態論特論Ⅱ 環境動態論特論Ⅲ	環境動態論講座		

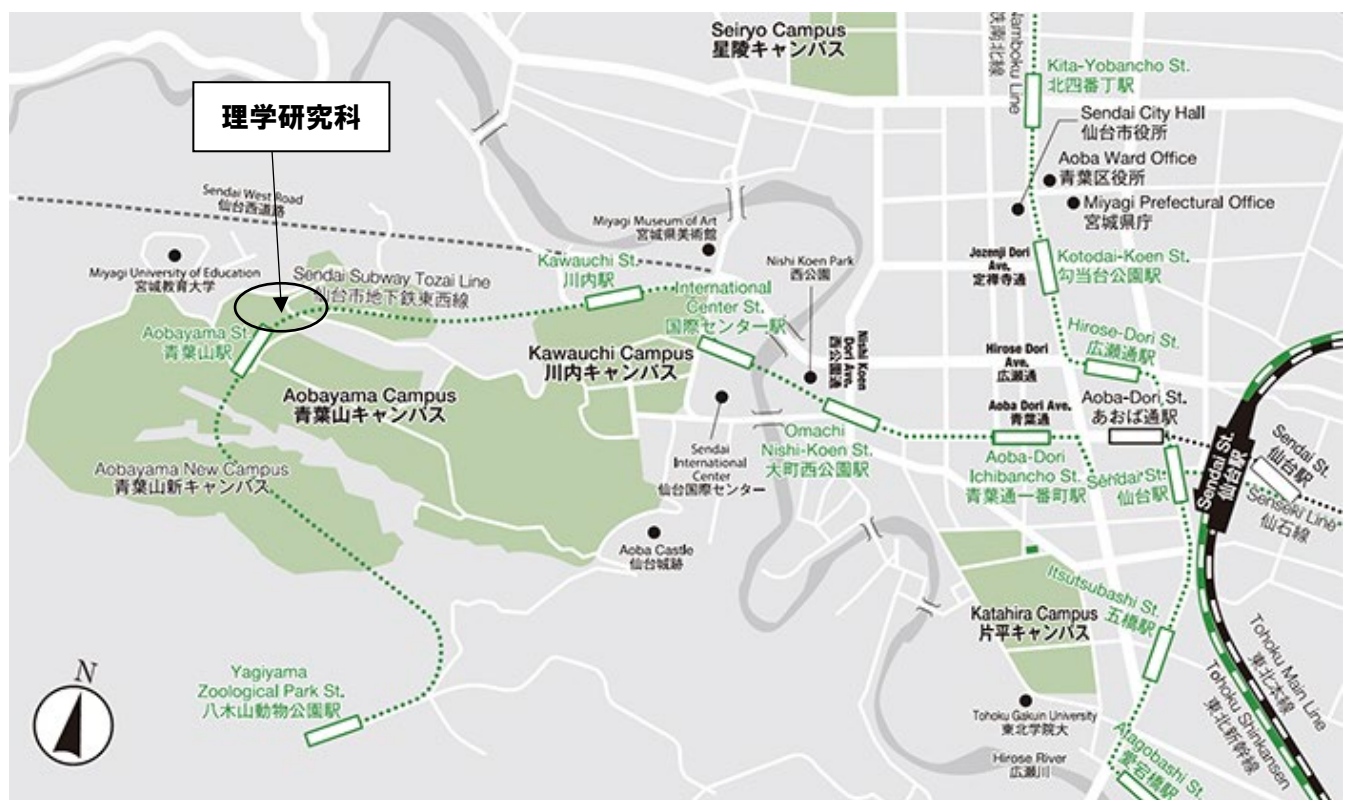
東北大学大学院理学研究科の所在地・案内図

所在地 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号
(JR 仙台駅から西へ約4 km)

交通 ●**仙台市地下鉄東西線利用の場合** (所要時間約9分, 運賃250円)
仙台駅から八木山動物公園方面に乗車し, 青葉山駅で下車後
北1出口から徒歩5分
●**タクシー利用の場合** (所要時間約15分, 運賃約2,000円)
仙台駅西口タクシープールで乗車

『試験場案内図』

(仙台駅から西へ約4 km)



東北大学インタラクティブマップ

(日) <https://www.tohoku.ac.jp/map/ja/>

(EN) <https://www.tohoku.ac.jp/map/en/>



(日本語)



(ENGLISH)